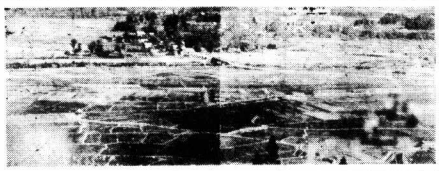
広報 たかのす
発行所
鷹巣町役場町長室
電話（代）550番 直通42番
（発行部数 5,700部）
印刷所 秋北新聞社

いよいよスタート
本町の農業構造改善事業

町の農業構造改善事業は、昭和三十六年度に計画地域として指定を受け、その間、農林課を中心に、各関係団体機関及び、関係部落と計画樹立の推進を図り、昭和三十九年度事業実施地域の認定を受けるため、東北農政局と協議を重ねてきたが、このほど正式に認定され、農家所得と労働生産性の向上を図るため、農業の抜本的な体質改善を目ざしていよいよスタートする。



◎基本構想

小猿部地区農家一戸当りの耕地面積は一・四㌶と経営規模が小さく、しかも季節的に多くの労働力を要する稲作が、その主体を占めている。従って一戸当りの年平均所得は三〇万円（粗収入四二万円）と極めて低く零細で非近代経営の現状のままでは他産業との所得格差が益々大きくなる反面農業就業人口は年々減少が予想され、又農産物の需要構造の変革と相俟って、農業経営の根本的改善を余ぎなくされてきている。

このため他産業に比する所得の向上を図る意味においても単に農産物の増収による生産向上にとどまらず労働生産性の大幅な向上を図らなければならい。そのためには、現在、耕地面積の六六％を占め、しかも農業収入の八〇％を占めている稲作については、区画整理、農道等の土地基盤整備事業を進めるとともにトラクターを中心とした大農機具の共同利用と栽培技術の導入による一貫作業体系を確立し、徹底した労力の省力化をはかるとともに、低生産畑地の飼料化及び未利用採草原野の草地化を推進し、米代中流集約酪農地域の中心地とした原料乳の生産と、県養鶏重点地区の指定に伴ない、鶏卵の生産地化等、基幹作目の拡大を図り、牛乳を米に結びつけ、農業所得の向上をはかる。

以上のことにより小猿部地区における経営構造の改善目標としては、①自立経営農家の経営類型別目標を設定し、この類型により所得目標五〇万円以上に引き上げたい。②自立経営農家の経営類型の規模は、米養鶏農家、水田八六㌃＋養鶏八一千羽、米酪農農家水田八一㌶＋乳牛八六頭、米専業農家、水田一・八㌶以上。③その他の農家については、経済の成長確立し、徹底した労力の省力化をはかるとともに、低生産畑地の飼料化及び未利用採草原野の草地化を推進して合理的企業経営のため農業法人化もすすめたい。

三重点を三カ年で
事業計画の概要

構造改善事業は本年度より三カ年で実施するもので計画は前述の基本構想のもとおり、土地基盤整備事業いわゆる水田区画整理を基盤に養鶏、酪農の経営近代化施設の三つを柱として、総事業費一億六千七百十五万五千円でその内、補助事業が一億二千四百七十万九千円。これには、土地基盤に七〇％、近代化施設に五〇％の補助、さらに補助残については八〇％の長期融資が行なわれております。

事業費の半数以上占めている区画整理事業は総面積二百三㌶で今後、大型農機具等導入を前提に三十㌃は総面積の五一％、二十㌃区画が三九％、十㌃区画が一〇％と立地条件にマッチした方法をとった。事業費九千三百六十九万五千円を見込んでおります。と同時に整備された水田に大型機械化による耕起、砕土、整地代騰等を大型トラクター三台に現有の耕耘機を組合せた作業体系を行なうとともに、将来、直播栽培、品種統一、完全薬剤防除を採用して集団栽培を確立し、大型防除機三台を導入、除草および病害虫の共同防除作業を実施する。刈取りには共同利用の刈取機を導入して、ライスセンターで処理する。

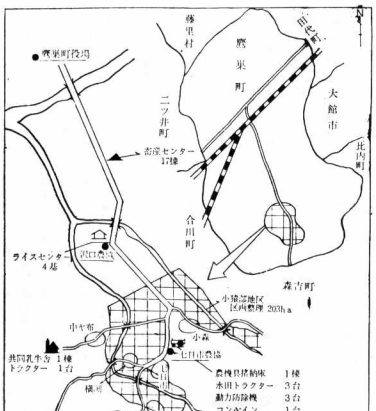
これによる稲作労働節減は、現況に於ける稲作体型は反当労働人員二四、八人が改善後において機械化一貫作業体系による反当労働人員一四、二人と省力化され、労働生産性の向上を図るとともに余剰労力を養鶏回収出来なく、事業中止の原因で養鶏振興を粗害されたが、これらの解消をネライとしたのが大きな特色である。事業費は三ヵ年で、一千五百五十三万二千円。今年度は九棟、建設して、三年後は年間六万五千羽の生産地の形式を確立する意味において、町内農協事業ヒナを供給が可能、集卵に連合で、養鶏農家より集設して育すう、集卵、出荷卵車で運搬、日産六万個を処理する計画である。

酪農施設は六戸を一協業体で五十頭収容できる共同乳牛舎一棟建設、草地造成にはトラクター一台を導入し、飼料生産を行なうとともに、多頭飼育をネライとしたもので導入計画とあいまって三年後の成果が期待される。

養鶏センターの内容は、ふ化、四十日ビナ、六十日ビナ、百二十日ビナまで飼育、農家の希望によって供給を行なう、鶏卵は農協、販売を確立する。これまでの農家は、ヒナから成鶏までの飼育がいちばんの悩みとされ、失敗が多かった。加えて投下資本をただちに回収出来なく、事業中止の原因で養鶏振興を粗害されたが、これらの解消をネライとしたのが大きな特色である。事業費は三ヵ年で、今年度は九棟、建設して、三年後は年間六万五千羽の生産地の形式を確立する意味において、町内農協事業ヒナを供給が可能、集卵に連合で、養鶏農家より集設して育すう、集卵、出荷卵車で運搬、日産六万個を処理する計画である。

酪農施設は六戸を一協業体で五十頭収容できる共同乳牛舎一棟建設、草地造成にはトラクター一台を導入し、飼料生産を行なうとともに、多頭飼育をネライとしたもので導入計画とあいまって三年後の成果が期待される。これまで

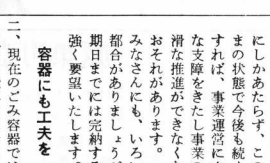
【写真上は岩脇地区の水田】



ごみ処理に協力を
鷹巣地区のみなさんへ

町では、みなさんご存知のとおり昭和三十七年より各世帯より排出するごみの処理を実施して来ましたがみなさんのご協力にもかかわらず、現在南鷹巣のごみは反当労働人員二四、八人が改善後において機械化一部分自家処理をするというので、町のごみ処理に加入してない世帯で捨てたもののようですが、町のごみ処理事業を推進する上にこの自家処理ということが大きな問題となり、再検討の必要に迫られております。

そこで、いわゆる自家処理をするということは、どういう場合であるかを今一度説明いたしてみなさんのご理解を得たいとおもいます。



自家処理とは

町で行なっているごみ処理事業とは、各世帯から排出するごみを収集して焼却処理するまでのことをいうのであります。そしてこれに要する費用に充当するため、ごみの排出量に応じて条例に定めるところに従がい、みなさんから手数料を納めて貰っている訳です。自家処理をするという世帯というのは、町の行なっているごみ処理と同じ様に、ごみを焼却するなどの方法で町の手を最終処理するまで、借りないんだということで町の承認を得た世帯をいうのであります。ですから、ただたんに南鷹巣まで運んで捨ててくるということは、自家処理しているとはいわれないのであります。ましてや、農林高校入口附近に捨てている様な世帯は論外でありまして、この様な世帯は今後全部、町のごみ処理に加わってもらい、手数料を納めていただかねばなりません。

円滑な運営に協力が必要

何んといってもごみ処理事業は、各世帯の生活環境を常に綺麗にしておき、明るい生活をできる様にしようとするのが目的であり、みなさんの積極的な協力がなければその目的を達成することは絶対できず得ないものとおもいます。

町においても努力をつくして今まで頑張ってきたわけですが、なかなか意の様にけかず、その結果みなさんにご迷惑をかけるということが再三あったのでが今後益々事業計画に検討を加え、迷惑をかけないよう努力するつもりであります

次に手数料の納入、ごみの容器、大量にごみの排出する世帯などについて申し上げたいとおもいます。

手数料は量に応じて

一、処理手数料の納入状態が非常に悪く事業の運営が困難になっています。ごみ処理手数料は、ごみの排出量に応じ町条例に定める額を納入して貰っていますが、この納入が、極めて悪く、調定額に対する納入割合は、昭和三十七年度約六割、三十八年度約四割という、ひく い成績です。これは事業費の約五割、又は約四割にしかあたらず、このままの状態で今後も続くとすれば、事業運営に大きな支障をきたし事業の円滑な推進ができなくなるおそれがあります。

みなさんにも、いろいろ都合がありましょうが納期日までには完納する様強く要望いたします。

容器にも工夫を

二、現在のごみ容器では、収集が能率的に行なうことができない大きな原因となっています。

現在みなさんが設置しているごみ容器の大部分がコンクリート製か木造のもので収集のとき、その一つ一つからシャベルで自動車等に移して歩くという作業になっており、収集に非常な時間と労力を要します。ですから、一寸ごみが多く排出された地区がでると収集計画が、いろいろと申し上げましたが、要は町とみなさんとの呼吸をピッタリ合せ一体となって、この事業を推進しないと決してうまく行きません。今後もみなさんの積極的な協力をおねがいいたします。

保健衛生課

【写真＝南鷹巣の生ごみ焼当場（上）と農林高校入口付近のごみの山（下）】

三、業種により常に大量のごみが排出する世帯、または何かの理由で一時的に大量のごみが排出する世帯のごみの収集は町で行なっておりませんが、今後これ等の世帯でごみ処理する場合は、燃焼、不燃焼に区分し、燃焼できるものは焼却場に運搬し係員の指示を受け、焼却炉に投入、または係員の指示する場所に置いていただきます。

また運搬にあたっては一度に大量のごみが運搬されても、さばききれませんので焼却場の係員と事前に連絡して計画的に行なっていただきます。

以上ごみ処理について、いろいろと申し上げましたが、要は町とみなさんとの呼吸をピッタリ合せ一体となって、この事業を推進しないと決してうまく行きません。今後もみなさんの積極的な協力をおねがいいたします。

保健衛生課

大量に排出する世帯

ごみの容器を備えつける世帯が駄目になって取替えようとする世帯は、容器から直接収集車に移し替えができるような容器にしていただきたいと思います。

第十回 町議会臨時会開く
災害復旧補正予算可決

第十回町議会臨時会は十月三十一日午前十時から役場会議室で行なわれ、三十九年度町災害復旧特別会計予算を審議、原案通り可決した。

補正予算の内容は、ことしの七、八月の農地災害で十月査定が済んだもの十四カ所の復旧費で、冬期に入る前に工事発注し、今年中に復旧を計りたいもの。

▽議案第九二号　三十九年度町災害復旧特別会計補正予算（第4号）

補正額は七三三万八千円これで災害復旧特別会計予算は三千五三〇万三千円となった。

歳入は、受益者分担金七五万円、県補助金四四六万一千円、町債一八〇万円、一般会計より繰入金三二万七千円。

▽査定金額　七百万七千円
田面復旧　二ヵ所
施設工事　十二ヵ所
計　十四ヵ所

▽工事入札は近日中に行なう。

11月1日現在
人口動態
◇人口総数　28,229人
◇世帯数　5,630世帯
男13,692人　女14,537人
（10月中の件数）
転入 102　出生03
転出 111　死亡19

児童館に本を送ろう

県では、辺地振興対策のひとつとして、各地に児童館を設置していますが、こと上舟木児童館を含めた五カ所設置される予定であります。北秋田福祉事務所では、これら児童館の内容を少しでも充実させるために〝児童館に本を送ろう〟の運動をこの十一月一日から三十日まで行なうことになっています。

辺地児童館を利用している子どもたちに少しでも役立ててもらうと同時に子ども達に深めさせていただきたいということが、この運動の目的であります。

これら運動は各子ども会などが中心に行なうことになっていますが、町民みなさんの自発的な奉仕活動としてこの運動にご協力ください。

◎本の種類は子ども向きの本であれば、種類は問いません。

◎届先は各子ども会、役場町民課福祉係まで。

◎配分方法などは福祉事務所で行ないます。

優良子ども会 二つ表彰される

県では、去る十一月二日県立児童会館で県内七〇優良子ども会を表彰し、町内関係でも次の子ども会がうけた。

あけぼの子ども会（東仲通り）

小猿部子ども会（脇神）

生ワクチン投与の日程

本年度下半期の経口ポリオ生ワクチン混合の投与を実施します。

▽十一月三十日　七座小学校、坊沢小学校▽十二月一日　七日市診療所▽同二日　綴子診療所▽同三日　沢口近藤医院▽同四日　栄支所▽同八日　鷹巣公民館。

◇対象＝昭和三十八年十二月一日より三十九年八月三十一日までの出生者。昭和三十七年十月十七日より三十九年二月二十九日までの出生者で本年五月枚与の際ワクチン枚与を受けなかった者。

◇←人一回五〇円　生活保護家庭は無料です

◇時間＝午後一時三十分から三時まで。

公明選挙強調月間 自十一月一日 至十一月三十日

清い一票明るい政治 こんどこそ公明選挙で

民主政治、地方自治の健全な発展のためには、選挙が公明に行なわれることが第一の要件であります。このためには町民の一人一人が豊かな政治常識と高い選挙道義を身につけることが必要であります。

しかしながら、本町における選挙の実情は最近の選挙の結果に照らしてみると、選挙き、違反は悪質、かつ多発の状況にあることは、まことに憂慮に堪えないものがあり、その公明化を実現するためには、公明選挙の常時啓発活動を一層幅広く、かつ、着実に展開し、当面本町の公明選挙運動に課せられた重大な使命は、地方選挙の公明化をはかること、明年の参議院議員通常選挙を目指しての選挙気運の盛りあがりに対応して全県的な公明選挙のムードをおし進め、その盛果を期待しているところであります が、われわれはこれからの運動に呼応し、選挙の公明化を阻害する公職選挙違反の行為、特に事前運動については、それぞれの権限と責任においてその防止に総力を傾注するとともに、断固としてその取締りを期しもって言論報道関係者、青年婦人層および町民各位のご協力のもとに、公明選挙の実現と民主政治の確立を期そうとするものであります。ここに町民一万六千有権者各位の良識に訴え、公明選挙の実現のために一層の自覚と協力をお願いする次第です。

昭和三十九年十一月

鷹巣町選挙管理委員会
鷹巣町公明選挙推進協議会

基本選挙 人名簿を縦覧いたしましょう

選挙管理委員会では、役場総務課において、十一月五日から十九日までの十五日間毎日午前八時三十分から午後五時まで基本選挙人名簿を皆様に見ていただくためお待ちしています。今回調製された名簿は本年九月十五日現在により調査した家族実態調査に基づいて選挙管理委員会で選挙資格の決定をし調製されたものであります。

この名簿は明年の選挙に使用されますので名簿にのっていないと投票できません。自分がのっているかどうか確めて見て下さい。

郵便貯金 二兆円の大台突破

明治八年以来年々めざましい発展をとげてきた郵便貯金の現在高は創業九十年目の十月十五日についに二兆円の大台を突破いたしました。

ひとくちに二兆円といいましてもピンときませんがこれを千円札で横に並べると、三十二万八千㌔、地球を八・二回り、積み重ねると高さが、約十九万六千㍍、なんと富士山の五十二倍にもなります。

このほう大な資金は政府を通して社会を住みよくするために市町村に貸し出されております。

鷹巣郵便局では、この二兆円突破を記念して、十一月一日から十一月三十日まで〝住みよい郷土をつくる、郵便貯金増強運動〟として増強運動を展開中であり町民各位のご理解とご協力を切望しております。

鷹巣郵便局

納税に協力を!!

いま　滞納整理強調期間中です。

ぜひ　滞納一掃にご協力ください。

＝納期限が過ぎますと延滞金が加算されます＝

公民館定期講座

十一月二十二日　パーティー向きの料理　同二十九日　手芸　スイングクロスさし、マフラーバックなど。

あたたかい善意

このほど次のかたから亡くなられた家族の香典返しを町の社会福祉協議会を通して寄付された。この暖かい善意を心から感謝いたしております。

▽寄付された方の芳名

加藤虎治(北新町)一万円
本城久光(藤株)二万円
戸島輝子(福住町)一千円
畠山福治(舟見町)三千円
河田卓(福住町)二万円

〈受付順〉

成田正哉町議

七座今泉、町議会議員成田正哉氏は、十月二十八日死去した。以前に胃手術後の容体が思わしくなかったのが原因。葬式は三十日自宅で行なった。

◇　◇

国税の納期 (11月1日から11月30日まで)

○申告所得税　2期分(営庶業者)及び前期分(農業分)

○11月納期の法人税(確定分と中間分)……お忘れなく期限内に完納しましょう。

大館税務署

広報板

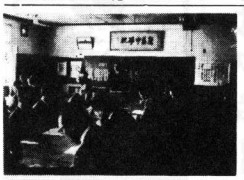
十一月の花ごよみ

日本の秋は菊の香りの天地といっていい。平安の昔中国から渡来したこの花もいまはすっかり日本の花となり、数十種類がかぞえられる。

心あてに折らばや折らん初霜のおきまどはせる白菊の花

この百人一首の歌のように菊の花は初霜のころまでもり盛り久しく咲いている菊の香や奈良には古き仏達　芭蕉

理科教育センター開所



鷹巣町理科教育センターの開所式は、去る十月二十九日午後二時から鷹巣中学校で開かれました。理科教育センターは鷹巣中学校におかれ、町内各小中学校の理科教育の実験施設や研究材料を配置して、大いに教育の実をあげようというもの。

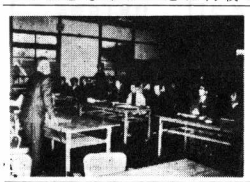
教育委員会では、所長に渡辺教育長を任命し、役職員は町内各小中学校職員のうちから委嘱した。

栄小学校復旧なる

四月三十日不幸にして、給食室、職員室、校長室など一部を焼失した栄小学校の復旧再建は、三四八万円の工事費で進められていたが、このほど新築落成式を行なった。

同小学校は三十年の長い歴史を誇る児童入浴も近くはじまり、また学校給食も行なわれ、一時は不自由を感じていたが、いまは楽しい学習ができ、健康ではつらつさがみなぎっている。

出かせぎ者の会結成



鷹巣町出かせぎ者の会は去る十一月四日午後二時から役場会議室で結成された出かせぎ者の会は、さきに本町出かせぎ相談所を通して出かけるものですが、当日集ったのは、婦人をまじえた二十五名でした。

会の目的は相互の結合を図り、雇用条件の改善など出かせぎ者の社会的、経済的地位の向上を計ろうとするものです。

南米花嫁求む

ブラジルのカストロ、パラナに三十五年に移住した小平隆君(二六歳、鷹巣出身兵一郎三男)は、鷹農学業後南米に移住、現在五町歩の農業を自営しており、また日本人経営の農場で現場主任をして現地邦人の中堅青年として宿望されています。希望者は役場農林課または親元へ連絡願います。

【予防接種をうける赤ちゃん】

予防接種をうけましょう

町ではインフルエンザの予防接種を行ないますので近くの場所で受けて下さい

▽十一月十六日　七座、坊沢小学校①十七日藤株近藤医院、岩谷小学校②▽十八日栄、坊沢、緑ケ岳、坊山小学校②▽十九日七日市診療所②綴子公民館▽①二十日鷹巣公民館▽二十四日七日三ノ渡会館②二十六日綴子公民館②▽二十七日鷹巣公民館②数字は夜数。

一日保母さん

鷹巣町民生委員会では、中央共同募金会の提唱による「社会福祉施設の日」に呼応して「赤い羽根」の募金運動中の十月二十六日、保育施設である鷹巣保育園で一日保母を行なった。

当日、民生委員である中村、奈良、長谷川さんが子どもたちと一緒に遊戯、うたのおけいこ、乳幼児のお世話などを行ない、楽しい一日を過ごした。

百歳まで生きよう

老後も明るく……

という会が鷹巣地区の老人の間で結成されました。わたくしたちの町でもすでに老人クラブが○組できています。

鷹巣地区の会は〝長生き大学〟と称し、公民館のきもいりで、去る十月二十一日開校、出席者は八十四名(登録者百十五人)でした。

会はお互の健康を守り、新しい社会の動きを知り、長生きの秘けつを語り合う

鷹巣町農民感謝祭

11月25日

◎農業経営分科座談会　午前10時～午後1時

農業近代化を進めるため多数参加ください。

稲作(役場会議室)　酪農(公民館)　養豚(丸留旅館)　養鶏(農協会館)　林業(丸留旅館)

◎アトラクション

民謡日本一大会　午後1時～午後4時　千葉千恵子一行

ところ　鷹巣町公民館

入場無料　但し会場整理券をご利用ください

主催　鷹巣町　鷹巣教育委員会

読書会員募集!!

読書は知識のバロメーター

読書会にはどなたでも加入できます

会費年間　正会員　一、〇〇〇円　準会員　五〇〇円

申込先　鷹巣町公民館(電話八〇三番)内

鷹巣町読書会